

九州大学百年史 第1巻 : 通史編 I

九州大学百年史編集委員会

<https://doi.org/10.15017/1801084>

出版情報 : 九州大学百年史. 1, 2017-03-31. Kyushu University
バージョン :
権利関係 :

九州大学百年史

第 1 卷
通史編 I

序

九州大学は 1903（明治 36）年創設の京都帝国大学福岡医科大学をその直接の前身として、1911 年、工科大学・医科大学よりなる 4 番目の帝国大学として創立されました。2011（平成 23）年に創立百周年を迎え、次の百年に向けて、常に未来の課題に挑戦する大学であり続けることを目指しております。

大学の使命は、学問をたゆまず進歩させ、科学・技術・文化など万象に接し、過去と未来を結ぶ時間軸の中で真理を探究し、その先へ向かって叡智の光を放っていくことです。『九州大学百年史』は、九州大学がこれまでどのようにその使命を果たしてきたのかを、内外に積極的に公開することを目的として編集されています。本書を通じて九州大学の歴史を広く知っていただくとともに、今後の九州大学のあり方について、示唆や指針を得る手がかりとしていただきたいと存じます。

『九州大学百年史』は通史編・部局史編・資料編から構成され、本巻は九州大学全体の歴史を示す通史編の第 I 巻として公開されます。本巻では、京都帝国大学福岡医科大学の淵源と位置づけられる医学校「養生館」の設立から、1949（昭和 24）年に新制九州大学が発足する前までの時

期を対象といたしました。九州大学ではすでに創立 50 周年にあたって『九州大学五十年史』を発刊し、本巻の対象とする時期について詳細な叙述がなされています。『九州大学百年史』編集にあたっては、『五十年史』の内容を踏まえつつ、新たな視角を導入し、新たな資料を利用して、『五十年史』をさらに発展させた内容とするよう努めました。

本巻が対象とする時期は、九州帝国大学が創立され、農学部・法文学部の創設を経て、1939 年の理学部の創設により総合大学としての完成をみた時期にあたります。また、のちに新制大学として統合する福岡高等学校や久留米高等工業学校（久留米工業専門学校）も創立され、それぞれ独自の発展を遂げていきました。本巻では九州帝国大学の全学的な展開を軸としつつ、各学部や研究所、前身校等についても詳しく叙述しています。

またこの時期は、日本が近代国家として発展していった時期です。その発展における九州帝国大学の役割にも大きなものがあります。本巻では、特に地域社会との関係を重視しつつ、九州帝国大学がどのように社会に貢献してきたかについても目配りいたしました。くわえて、現在の大学にとって最重要の課題となっている国際化についても、九州帝国大学がその創立間もない頃から「国際化」の先駆的な役割を果たしてきたことを、本巻では見出しております。

九州大学では現在、伊都キャンパスへの統合移転を進め

ており、この未来型キャンパスを核として、アジアを重視した知の世界的拠点大学、日本を代表する基幹総合大学として、教育・研究・診療において世界を牽引し、さらに飛躍していくことを目指します。上に示しました地域社会との関係や国際化は、現在の九州大学にとっても重要な課題となっています。こうした課題や、これからの九州大学のアイデンティティのあり方を考えるうえで、本巻の内容は重要な示唆を与えてくれるものと存じます。

本巻の編集・執筆にあたっては、数多くの方々から資料の提供などのご協力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

2017（平成29）年3月

九州大学総長 久保 千春

凡 例

- 1 本巻「通史編Ⅰ」には、おおむね九州大学の淵源である賛生館の設置から 1949 年に新制大学が発足する前までの九州大学全体の歴史を収録した。
- 2 本文の漢字表記は常用漢字・現代かなづかいを用いた。ただし人名等の固有名詞についてはこの限りではない。
- 3 引用資料については以下のとおりとした。
 - (1) 漢字を原則として常用漢字体に改めたほかは原文どおりの表記とした。ふりがな・傍点・傍線等は原則として省略したが、難読と思われる漢字についてはふりがなを付けた場合がある。また、句読点を補った場合はその都度註記した。
 - (2) 明確な誤字についてはこれを改め、特に註記はしなかった。
 - (3) 引用資料の一部を省略した場合はその部分に〔前略〕〔中略〕〔後略〕等と註記した。
 - (4) 資料中に現在では適当でない表記・表現等が含まれる場合があるが、歴史資料であることに鑑み、原則としてそのまま引用した。
- 4 年紀は西暦で示し、適宜元号を補った。
- 5 敬称は資料提供者名以外は省略した。敬語は用いないこととした。
- 6 本文中の図（写真を含む）・表には編ごとに番号を付した。例えば、第 1 編の第 1 図を「図 1-1」のように示した。
- 7 資料編各巻に収録した資料については、収録した資料編の巻号と資料番号、頁数を示した。例えば資料編Ⅰの 100 番資料 262 頁を「資料編Ⅰ－100、p.262」のように示した。
- 8 本巻の執筆者は以下のとおりである。

第 1 編第 1 章第 1～3 節 藤岡健太郎

第 4 節 折田悦郎

| | |
|-------------|-------|
| 第2章第1・2節 | 折田悦郎 |
| 第3・4節 | 藤岡健太郎 |
| 第2編 | 井上美香子 |
| 第3編第1章第1・2節 | 井上美香子 |
| 第2章 | 藤岡健太郎 |
| 第3章第1・2節 | 熊野直樹 |
| 第3・4節 | 植田信廣 |
| 第4章 | 井上美香子 |
| 第5章 | 井上美香子 |
| 第6章 | 藤岡健太郎 |
| 第4編第1章第1・2節 | 新谷恭明 |
| 第3～5節 | 山口輝臣 |
| 第6節 | 藤岡健太郎 |
| 第2章 | 藤岡健太郎 |
| 第5編第1章 | 藤岡健太郎 |
| 第2章第1節 | 三輪宗弘 |
| 第2～6節 | 藤岡健太郎 |
| 第3章第1節 | 三輪宗弘 |
| 第2節 | 藤岡健太郎 |
| 第3節 | 折田悦郎 |
| 第4節 | 井上美香子 |
| 第4章 | 井上美香子 |